



玄真堂 理事長
川島 真人氏

広がる「川島式」 中津で国際学会

骨髄炎をはじめ、糖尿病性ガス壊疽や難治性潰瘍、脊髄神経疾患、突発性難聴などにも適応される高気圧酸素治療。その実践や効果などについて議論する第4回「アジア太平洋潜水・高気圧環境医学学会」が昨年10月、中津市で開催された。2年に1度の国際学会には米国や中国といった環太平洋地域はもちろん、世界各地からトップレベルの研究者が集まった。

市内の村上医家に一時滞在していた

め、高気圧酸素治療にオゾンナノバブル水を取り入れるなど、研究は今も続いている。

「心のこもったサービス」と「地域・住民・患者さんから評価・信頼される医療」の提供を目指す川島整形外科病院。「地方にあっても質の高い医療を提供したい」と、感染症だけでなく手、肩、膝、股関節の疾患に細かく対応する診療体制を整備している。同時に職員には、「社会の共通資本」としての病院の役割を徹底して説く。「医療の実践には心技体が不可欠。奉仕の心やフィロソフィーが重要」

とされる幕末の蘭学者・高野長英の学問訓に感銘を受け、「水滴は岩を穿つ」の精神で、地道に研究を続けてきた。国際学会での発表や共同研究などを通して海外の研究者とネットワークを構築。川島式持続洗浄治療と高気圧酸素治療を併用した治療法は「川島式」と呼ばれ、国内外で実践されている。中津で生まれた水滴が岩を貫き、水脈となって世界とつながった。難治性骨髄炎の再発や閉塞を減らすた

という。

「高齢化が進む中、急性期医療から介護ケアまで、さまざまなニーズに応えるためには専門性だけ高めればいいのではありません。患者さん一人一人の声にしっかりと耳を傾けていけるよう、スタッフには多様な受け入れられるだけの教養が求められる」

自然エネルギーの導入や病院内外の緑化など、世界規模の環境問題にも足元から取り組む。身近な活動や日々の積み重ねが大きな実を結ぶことを知る者として、今年も病院を引っ張っていく。



心技体そろった医療の実践を目指す

病院DATA

- 診療科目
整形外科・リハビリテーション科
リウマチ科・放射線科・脳神経外科
- 診療時間
月～金/ 9:00～17:30
土/ 9:00～12:00
- 休診日
日曜、祝日、年末年始(12月30日～1月3日)



社会医療法人 玄真堂
川島整形外科病院

中津市宮夫17
TEL0979-24-0464
<http://kawashimahp.jp>